

## 当面の電力需給見通しについて

### 1. 需給状況と見直し

○ 東京電力では原子力発電の安全と安心を確かなものにするため、原子炉を停止して綿密な点検・補修を行っています。5月9日に柏崎刈羽6号機(135.6万kW)、6月20日に同7号機(135.6万kW)が発電を開始致しましたが、他の15基については現在、運転の停止が続いています。

○ 6月下旬については、仮に原子力プラント15基の停止が続き、高需要が発生した場合には一時的に厳しい需給状況となることも見込まれますが、検討・調整中の追加供給力を活用すれば、何とか安定供給を確保できる見通しです。

➢ ただし、追加供給力対策には、不安定な要素が多く(試運転電力は補修や点検のため安定的に期待できない可能性があります)、さらに発電設備の運転停止リスク、気温上昇による需要急増のリスクを考慮すると、300万kW程度の予備的な供給力を保有したいところです。

○ 夏季については、柏崎刈羽6、7号機以外の原子力15基の停止が続いた場合、7月上旬から需給が逼迫する可能性があります。その場合、追加供給力を最大限活用するほか、需給調整契約による需要の抑制等により安定供給を確保する考えです。

また、梅雨明け以降、猛暑となった場合には、6,450万kWの需要予測に対して供給力が大幅に不足する見通しです。(▲550万kW)

その際には、検討・調整中の追加供給力(約300万kW)や需要対策を最大限に活用していきますが、それでも供給力不足は解消されないため、設備トラブル時に対応する予備的な供給力も含めて、更に追加的に原子力プラント6~8基程度の運転再開を目指します。

高需要は盆休みを除く7月上旬から9月上旬にかけて、平日昼間に下記の頻度で発生する可能性があります。具体的な日時については、今年の気象次第となります。

- ・ 5,500万kW以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43日中15日程度
- ・ 6,000万kW以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43日中8日程度

○ 各月の需給見直し (停止中の原子力プラントが継続して停止すると仮定)

【通常時】(通常の気象条件の場合) (万kW)			
	6月	7月	8月
需要	4,900	6,100	6,100
供給力(※1)	5,600(※2)	5,900	5,900
予備力	700	△200	△200
【高需要時】(厳しい気象条件の場合) (万kW)			
	6月	7月	8月
需要	5,500	6,450	6,450
供給力(※1)	5,600(※2)	5,900	5,900
予備力	100	△550	△550

※2：6月の供給力は23日以降の平均

### 2. 供給力および需要面の対策

○ これまでに見通しのついた主なもの(左表の供給力(※1)に含めてあります)

長期計画停止火力再開：夏季約220万kW

発電所	号機	供給力	再開時期
横須賀	8号	35万kW	H14/11/27(再)
鹿島共火	2号	35万kW	H14/12/3(再)
横須賀	7号	35万kW	H14/12/27(再)
川崎	5号	17.5万kW	H15/2/4(再)
横須賀	6号	35万kW	H15/2/21(再)
横須賀	5号	35万kW	H15/5/29(再)
横須賀	2号	26.5万kW	H15/7月上旬

停止時期の繰り延べ：約10万kW

発電所	号機	供給力	時期延期
君津共火	2号	12.5万kW	6月～→10月～

※夏季対策として合計約550万kWを確保。

他社からの応援融通計画受電：夏季約165万kW

受電時期	送電会社	供給力	備考
4月～	北海道	30万kW	
	北陸・関西・九州	35万kW	うち6万kWは関西の水力機の50Hz運転
6月16日～	中部	9万kW	電発佐久間水力機の50Hz運転
6月23日～	北海道	30万kW	
	関西	42万kW	うち2万kWは水力機の50Hz運転
	九州	20万kW	

その他：夏季約150万kW

- ・ 新設火力発電所の運転開始時期繰り上げ(品川1-3軸、富津3-2軸、各38万kW)
- ・ 自社火力補修時期調整(7月：10万kW、8月：70万kW)
- ・ 自社揚水式水力の補修中止、繰り延べ

○ 検討中の追加供給力対策(左表の供給力(※1)に含まれていません) (万kW)

	6月(※2)	7月	8月	備考
試運転電力	190	180	120	常陸那珂1号(100万kW)、高川1-3軸・富津3-2軸・同1軸(各38万kW)。
自家発余剰の購入	40	60	60	JR東日本様等。
火力の増出力運転	40	60	60	需給逼迫時には自社に加え他社にも増出力を依頼
その他	40	20	20	
合計	310	320	260	※2：6月の供給力は23日以降の平均

○ 需要対策 (万kW)

随時調整契約実効値(推定)	120	130	130	契約拡大に向けて、全力をあげて取組中。
---------------	-----	-----	-----	---------------------

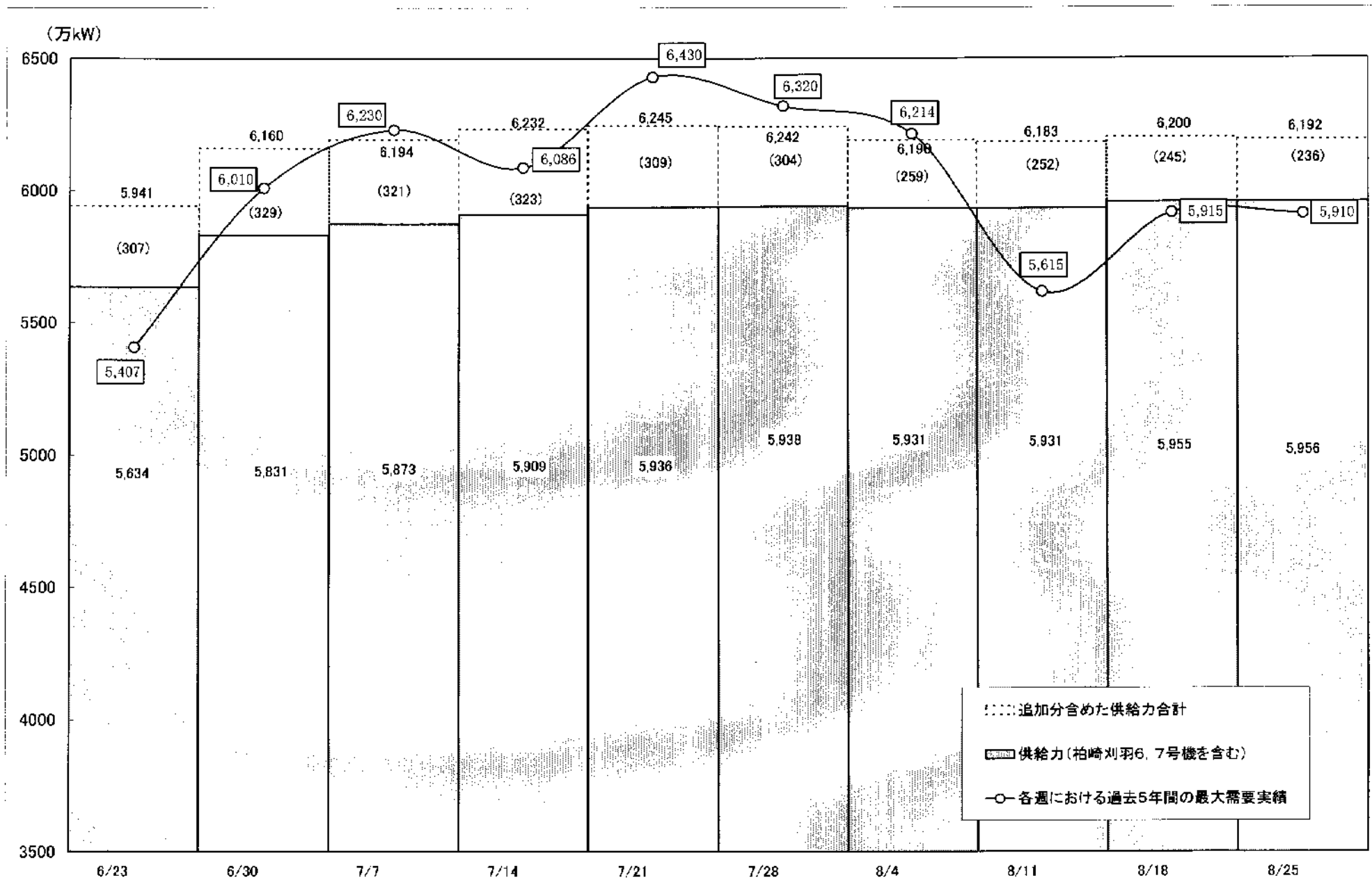
さまざまなリスクを考慮し、追加供給力対策の確実性を高めるとともに、すでにお客さまにご協力いただいている需要面の対策につきまして、さらなる拡大をお願いして参ります。

- ・ 需給調整契約の拡大……すでに、計画調整：約140万kW、随時調整：約130万kWのご協力をいただける見込みですが、さらなる契約拡大をお願いして参ります。

- ・ さらなる節電のお願い……高需要が予想される夏の期間(6/23~9/5：予定)、テレビ・ラジオ・インターネット・テレホンサービスを使った「でんき予報」を流し、広く節電を呼びかけて参ります。

# 各週別の最大電力実績および供給力の見通し

平成15年6月23日現在



(日付は各週月曜日)